

「フジャンド市給水設備改修計画」 引渡し式

10月17日、相木大使は、ソグド州フジャンド市（首都ドゥシャンベ市の北約300kmに位置）を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された、同市給水設備改修プロジェクトの引渡し式に出席しました。

本計画で我が国政府は96,145米ドルをフジャンド市に供与しました。貯水・浄水場内のポンプ、エンジン、水源の川より水を引くためのポンプ、貯水・浄水場から各住宅地や公共施設へ水を供給するパイプが改修されたことにより、より安全で安定した生活用水へのアクセスが容易になりました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、水分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、フィルダヴス・シャリフゾダ市長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計462件、総額約3,800万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

